

ふれあいのまち

小正市民センター地区まちづくり推進協議会

2023 3.1

小正コミュニティー

編集 新聞部会
事務局 小正市民センター
☎ 21-8000

No. 87 発行部数 9800部

活動報告



最後は今日まで三七〇年余りの長きにわたり「八丁味噌を死守」してきた先達のご苦労には頭が下がります。

味噌の出来の良し悪しは、水と塩の割合で決まると言っても過言ではありません。この大桶に約六トンの味噌を仕込み、約三ト(約三五〇個)の重し石を円錐状に積み、熟成させます。八丁味噌の定義は「木桶に仕込み、八帖で二夏二冬(二年以上)天然醸造で熟成させる」と説明を受けました。

カクキュー八丁味噌の郷を訪ねて

長野スクエア区 坂田 幹夫
カクキュー八丁味噌の創業は、正保二年(一六四五年)八丁村(現・岡崎市八帖町)で初代当主早川久右衛門により「八丁味噌製造・販売」を始めました。八丁味噌製造の流れは、よく洗った大豆を二晩水に浸し、大甑におおこしき・現在のせいろに移し大釜で発生した蒸気で蒸し、その後、こぼし大の味噌球に握られて麹菌を付け豆麹を作ります。次の仕込作業は最も重要で、この豆麹に当主あるいは熟練した職人が決めた量の塩と水を混ぜ合わせて出来上がった味噌の元を直径六尺、深さ六尺の大桶に入れ、足袋を履いた職人が空気を抜くために踏み固めます。味噌の出来の良し悪しは、水と塩の割合で決まると言っても過言ではありません。

それを役員や参加者で食べながら訓練のことや近況報告など、会話が広がり、久しぶりに地区での交流が図られました。今後も定期的に実施し、共助の力を高めていきたいと思えます。



地域で行う防災への備え

本区では防災体制強化を図るため、令和四年三月に「減災に関するアンケート」を実施しました。その中に飲料水を区でも備蓄してほしいという意見があり、その対応として給水タンクの活用について管理組合と調整をしています。また、令和四年十一月六日に三年ぶりに防災訓練を実施し、その中の炊き出し訓練ではガス釜でお米を炊き、おにぎりを握り、大鍋で豚汁を作りました。



昔の出来事に思いを馳せて

十一月十八日、社会見学に参加させていただいた。目的地は岐阜県本巣市の地震断層観察館。これで何回目の訪問だろうか。懐かしい思い出が幾つもよみがえる。小春日和に生まれ、午前十時、目的地到着。嬉しいことに、今回の訪問では専属の解説員付き。まずは、屋外で断層と河岸段丘の規模を実感。資料館では、地震解説のフルコース。保存断層構造が、これまで以上に脅威に感じた。本日の学びを今後に生かしたい。帰路、道の駅・織部の里に立ち寄った。実りの秋、物産販売所は橙色一色。私も買い物客に触発され、蜂屋柿を購入。バスの中、知人の干し柿作り講義に感謝。上手くできたら、我が家の年中行事としたい。穏やかで有意義な一日であった。

国府宮南区 石黒 進

我が家のペット自慢



佐藤ティミー(4歳)



ロイちゃん



M.T「あんどん」



M.T「公園でおさんぽ」

あたらしいかぞく

ロイちゃん

小正小 2年 丹下 詢也
ぼくのおうちに、あたらしいかぞくがふえました。フレットで名前はロイドです。



ミンちゃん



ロイちゃん

ロイちゃんのすきなところは、はしつているところがかわいくて、おきにいりのおもちやをくわえてはしつてあそんでいるところです。はたけにつれていくとまは土をほつてあそびます。そんなところもかわいいです。ロイドはケージのなかではじぶんハンモックでねています。暖かくなつたらそとでいっぱいあそびたいです。

長生きしてね

ミンちゃん

小正小 5年 丹下 誠也
ぼくのペットは、ウエルツノガエルのミント(通称ミンちゃん)。

大好きなキャンプ

稲東小 4年 原田 橙杏

私の家族は、月に一回はキャンプに行きます。いつもは家族でいきませんが、友達の家族といっしょに行く事もあります。キャンプでは、よく妹とおかし作りをします。作った事があるおかしは、アップルパイやバウムクーヘンです。おかし作りが終わったたら、バトミントンやフリスビーをします。家族全員でやると、とても楽しいです。夜ご飯を食べると、外に出て星を見ます。オリオンざや北斗七星、たまにながれ星も見えます。いろんな体験ができるキャンプが私は大好きです。



新しいイルミネーションあったよ

小正小 3年 野田みおり

わたしは、家族4人でこののみや神社のイルミネーションに行きました。イルミネーションで新しいものを見つけた。2つは、地面にうつるので、1つは、アーチで、あと1つは、のぼり台です。他のやつはふつうにまゑからあるものでした。イルミネーションで新しいものをふんだり、のぼり台を見て見ました。それをくり返していると帰る時間になっていました。

来年は新しいものがイルミネーションに入つてこないかなあと思いました。次のイルミネーションもいきたいと思います。

編集後記

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度も活動が厳しい状況でしたが、皆様のご協力のおかげで無事に発行する事ができました。来年度は地域の様々な活動が楽しくできるような、感染症の収束を願っております。

事務局・小正市民センター
TEL 二一八〇〇〇
FAX 三三一一〇〇四

防災講話
『共助の重要性』

環境部会 部長 服部 隆一
令和四年九月三日に本部会の事業として講師に認定特定非営利活動法人「愛知ネット」の内藤瑤氏を招き、被災地から学ぶ1日頃からできる災害への備えを議題とした防災講話を実施しました。
講師が実際に体験した被災地の状況聞き、避難所は過酷な場所、行かなくてもいい方法を考え対策することが大事だと気付きました。
また、阪神淡路大震災では倒壊家屋の下から救出された人の約8割は地域住民により助け出されたということから、地域で助け合う共助が大切だということも知り、地域で協力し合える仕組み作りが必要だと痛感しました。

全体事業実行委員会

減災事業

昨年度作成した避難所運営マニュアルに基づいた訓練の実施に向けて協議

スポーツ青少年部会

学校清掃活動

(環境部会民生委員と合同)
9月16日(金)稲沢東小学校
9月20日(火)小正小学校



ウォーキング大会

2月19日(日)の実施に向けて各団体の代表及び部会で協議
(令和5年1月18日現在)

8.3運動

登校時(8時)・下校時(3時)に皆さんで児童を見守っていた活動を実施

環境部会

交通安全活動

7月11日(月)午前7時30分
JR稲沢駅西側及び稲沢中学校北側でサイン板による啓発活動

防災講話

9月3日(土)午前10時
「被災地から学ぶ」
日頃からできること」
講師 認定特定非営利活動法人 愛知ネット 内藤 瑤氏

防犯活動

12月2日(金)午後5時
JR稲沢駅西側及びカネスエ 国府宮店付近で防犯啓発及び付近のパトロール



防犯看板の設置

令和4年12月9日に5枚設置

福祉部会

一人暮らし高齢者及び高齢者施設の慰問

12月9日(金)
75歳以上の一人暮らしの方、(489名)及び、地区内の9施設にシクラメンを配付

情報広報部会

8月(第86号)・3月(第87号)の年2回発行し、地域の情報・話題などの紹介

市協力事業

ごみゼロ運動いなざわ
春5月29日(日)と秋10月は各家庭の周辺をきれいにする環境美化活動を実施(環境保全課)

中止

ふれあいフェスタ
福祉ふれあいの集い



ふれあいのまち

いろいろな気持ちの発表会

稲東小 5年 さとみいづな
私は、毎週木曜日ダンスをやっています。きょうかけは、弟がダンスを習っていて見学に行つて楽しそうだったからです。初めは弟と同じクラスでしたが仲のいい子とちがうクラスの体験に行くと、ついでに私がとてもむずかしくて悔しくてできるようになりたいたいと思いました。
文化フォーラムでの発表会があり、先生がおどっている動画を見ながら毎日いっしょうけんめい練習しました。二曲覚えなといけなかったので大変でした。当日は、おそろいの衣装を着たりお化粧をしたりヘアセットをしてとてもワクワクしていたので、ステージに上がつてみると目の前には多くの人がいてとてもきんちょうしました。終わるとすごく達成感を感じました。先生もほめてくれてうれしかったです。



はじめての行きたよ

小正小 3年 うかいさき
わたしは、お正月にこのみや神社にはつもうでに行きました。おみくじもひきました。けっかはすえ吉でした。おさいせんを入れておまいりもしました。おさいせんを入れるときにたくさん人がいてなかなかじゅん番が回つてこなかったのがかなり時間がかかってしまいました。
でもおさいせんをいれておまいりすることができました。そのあとにみたらしだんこをたべました。とてもおいしかったです。
来年もまた同じように行きたいです。

すごかった吉田まや

大塚小 3年 明田しろう
ぼくは、サッカーを見るのもプレーするのもすきです。11月から12月まではワールドカップがやっていたので日本のしあいは、全部生配信で見ました。ぼくが、一番かっやくしていたと思うのは吉田まやせんしゅです。
理由は、全しあひ、全時間に出場していたからです。そんな中でも吉田まやせんしゅはしあひのちゆうに色々なせんしゅに声をかけてみんなの気持ちをもち上げていてすごいなと思いました。だけどベスト8にはいれなくてぼくもくやしかったです。
ぼくは、吉田まやせんしゅのよいうなプレーをするためにこれからもういっぱい練習していきたいと思えます。



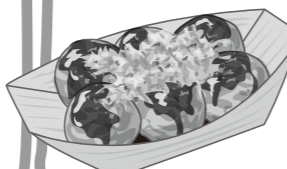
れきしがすきになるじゅんぱん

小正小 2年 山崎 亮斗
まずぼくが、れきしをすきになったときは、兄がれきしの本を買ったときぼくも読んでみたら、はまっていっばいれきしの本を買うことが多くなりました。あととんとんれきしがすきになりました。あと一かいの本が、れきしばかりになっていました。大河ドラマがはじまったとき、よくわかんなかったけど、さいごらんは、よくわかりました。大河ドラマはかまくらどこのだったので、げんべいやかまくらばくふがすきになりました。せんごくぶしょうがすきになって、じゅうちょうにせんごくぶしょうを書くことがおおくりました。あとクラスのみんなにしゃべつたら広まつて、ぼくがあたらしい本をもつてくると、みんなにかしてかしてとみんなよく言っていました。



たのしかったおおさかりじゅん

大塚小 1年 くり田口より
わたしは、ふゆやすみにおおさかへかぞくとりまこうにいきました。さいしよはUSJにいきました。ミニオンズハチャメチャライドのつて、ママはいっぱいキヤーカーいってこわがっていました。パパはもう一かいのつたら、はきそうといっていました。つぎの日にかいゆうかんにふねでいきました。うみはキラキラひかつてきれいでした。かいゆうかんに大きなジンベイザメがおよいでいました。大きいうんちをして、しいくいんさんたちがうんちをひろっていました。かいゆうかんにいったあとたこやきをたべました。ものすごくおいしかったので、もっとたべたくなつてもう一つかいました。おおさかいろいろなことのできたのしかったです。



六年間の思い出

稲東小 6年 平野 明音
今から六年前、ドキドキの小学校生活が始まりました。不安でいっぱいでしたが、先生方や友達のおかげで、一年を終えることが出来ました。
二年生の時、友達に「一緒に、ソフトボールやらない？」と声をかけてくれたことをきっかけに、スポーツに入団しました。学校とスポーツの両立の中、三年生の三学期からコロナ禍に入つてしまいました。色々なことが制限され、つらい事もありましたが、五年のキャンプ、六年の修学旅行には行く事が出来、多くのことを学びました。ソフトボールチームでは、最後の年にキャプテンを任せてもらうことになりました。日々、仲間と共に支えあつてきた事を大切に、卒業しても、はげんでいきます。

